

平成22年5月25日

お知らせ

資料提供先

三次記者クラブ

## 尾道松江線のトンネル見学会を行います

地元の人を対象とした野呂谷第一(南側部分)トンネルの現場見学会～

中国横断自動車道尾道松江線の野呂谷第一トンネル(南側部分)の現場見学会を庄原市口和町地内で行います。

見学会の対象は、口和町竹地本谷地区の住民の方で、普段は滅多に目にすることのないトンネルの工事現場を実際に見ていただき、工事にあたって採用されている工法や対策について、理解を深めていただくことを目的としています。

※今回の見学会は、新たな参加者の募集は行いませんが、記者の方の取材は可能です。

開催日時：平成22年6月6日(日)

10:00～11:30

集合場所：庄原市口和町竹地本谷地内

(野呂谷第一トンネル起点側抗口付近:詳細は別紙のとおり)

※構造物の名称は、仮称です。

### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

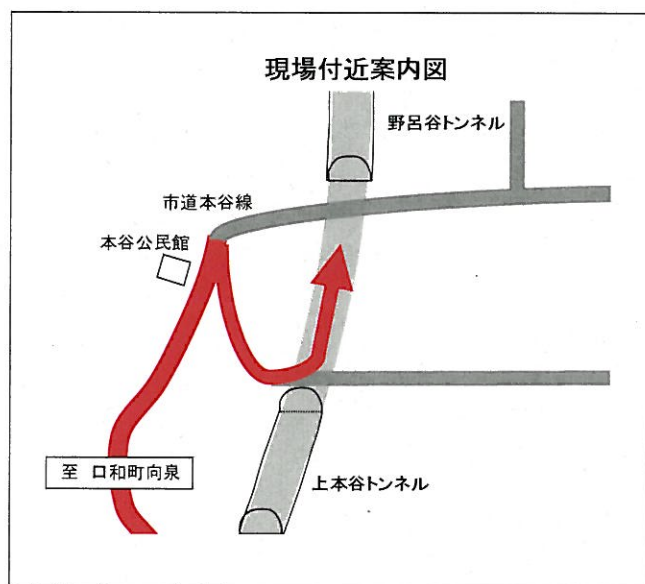
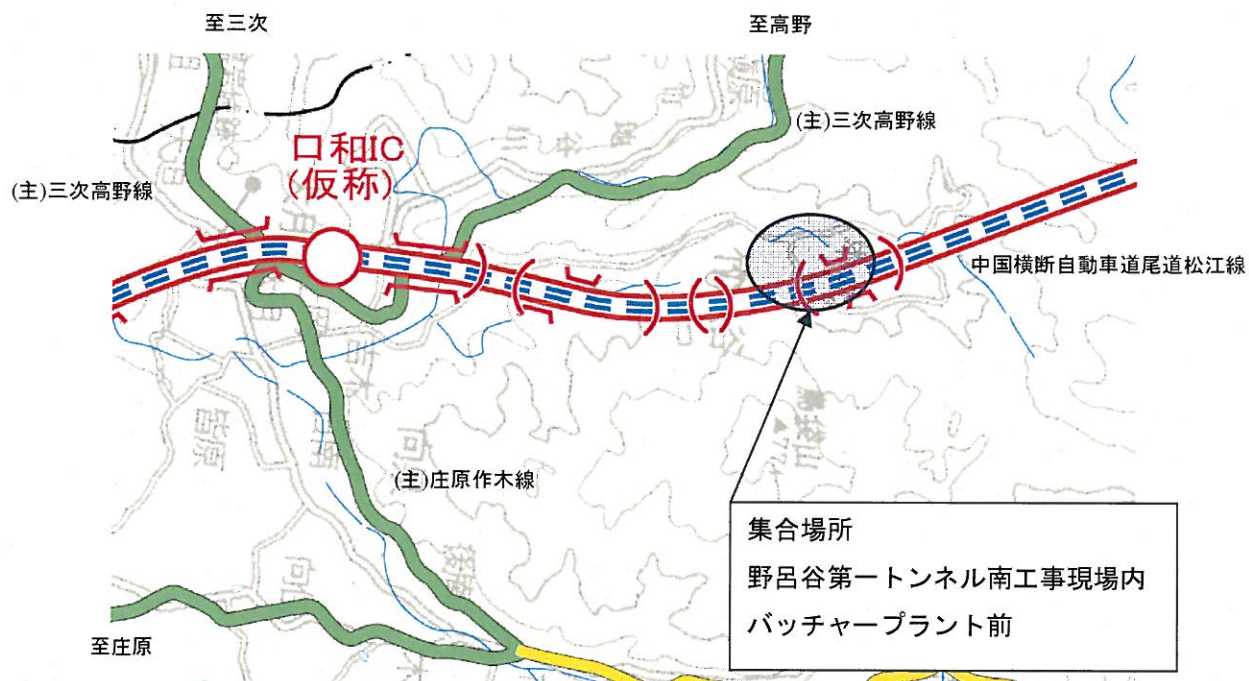
副所長(道路担当) 石川 庄嗣

【担当】建設監督官 神田 浩

【広報担当】調査設計課長 丹後 浩一

電話番号(0824)63-4121(代表)

## 集合場所案内図



これがバッチャープラントです



## 会場の連絡先

鹿島建設株式会社中国支店

尾道・松江自動車道野呂谷第一トンネル南工事事務所

TEL 0824-89-7061 担当 柴崎

## 《参考》

### 野呂谷第一トンネル南工事について

本工事は、野呂山(標高705m)を総延長2,428mで貫く野呂谷第一トンネル※のうち、南側部分(延長1,656m)を対象としたトンネル工事です。

野呂谷第一トンネルは、爆薬を使う発破工法で掘っています。トンネルを掘った直後は現地プラントで練ったコンクリートを掘削面に吹付け、さらに円周方向にロックボルト(長さ3.0～4.0mの鉄筋)を打ち込むことで地山が崩れなくするという方法を採用しています。これは、NATM工法と呼ばれ、現在は標準工法として一般に広くトンネル工事で採用されているものです。

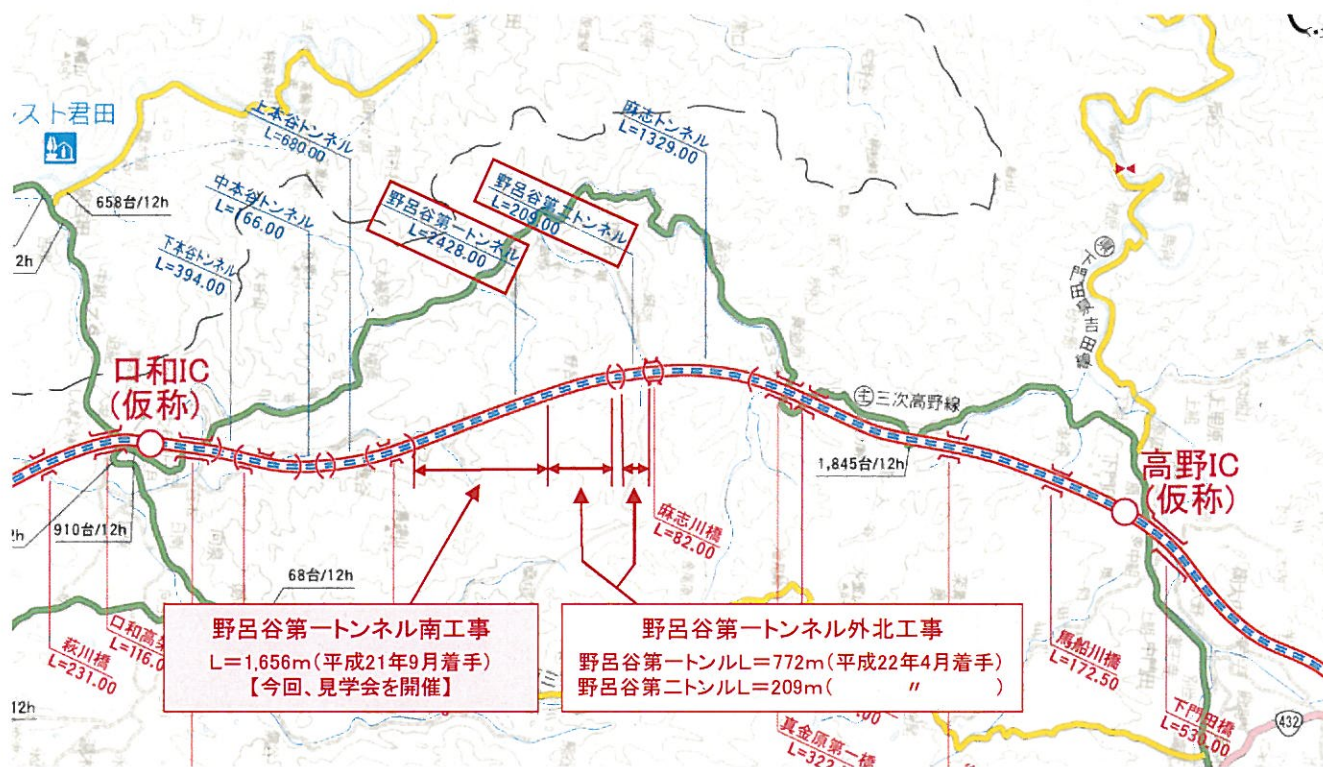
なお、発破後のトンネル破碎岩は盛土を行う工区にダンプで運搬し、本線の盛土として活用しています。

この工事では、建設廃棄物の①発生の抑制、②有効利用の向上・再資源化、③再生資材の利用促進に積極的に取り組んでおり、廃棄物の発生量ゼロを目標として工事を進めております。

※三次河川国道事務所が担当する区間の中では、広島県と島根県とを結ぶ<sup>おおよろぎ</sup>大万木トンネル(約4,878m)を除き最長です。



## 1. 位置図



## 2. 現地の状況



トンネル南側の坑口



坑内にある防音扉



トンネルの掘削現場